

## 第14回松本歯科大学総合歯科医学研究所特別セミナー

日時： 6月18日(火)午後5時より

場所： 実習館2階総合歯科医学研究所セミナールーム

演者： 齋藤 一郎 先生  
(鶴見大学歯学部口腔病理学教授)

タイトル： 「Reverse genetics による病因・病態解析  
シェーグレン症候群発症機序の検討-」

齋藤一郎先生は昭和54年に本学を卒業後、日本大学歯学部病理学教室・米国スクリプス研究所・東京医科歯科大学難治疾患研究所・徳島大学歯学部口腔病理学教室を経て、本年4月に鶴見大学歯学部口腔病理学教室の教授に就任されました。

齋藤先生の専門は免疫学・分子生物学であり、自己免疫疾患のひとつであるシェーグレン症候群の発症機序を探る研究では世界的に有名です。1997年にはサイエンス誌に、シェーグレン症候群の病因抗原(fodrin)の同定を発表し、更にその抗原成立機序に関する実験を発表されています。最近ではシェーグレン症候群の発症におけるIL-10の関与やシェーグレン症候群の遺伝子治療の研究も行われております。セミナーにおいてはシェーグレン症候群に関する一連の研究について明快に講演されました。